

事務事業チェックシート

事務事業No 94 事業名 美化啓発事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	3	魅力ある都市景観の創出
施策	2	都市緑化・都市美化の推進
取組方針	3	都市美化の推進

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	自治振興課	竹内 学	435-1011
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		市民生活費	
	目		まち美化推進費	
	大事業 中事業		まち美化推進事業 美化啓発事業	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か まちを美しくするための啓発運動		全体事業概要 美化啓発のためのテレビ、ラジオ放送委託、美化推進委員の委嘱、美化功労者の表彰等				
	事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		美しいまちづくり運動功労者に対する感謝状贈呈式の開催	美しいまちづくり運動功労者に対する感謝状贈呈式の開催	美しいまちづくり運動功労者に対する感謝状贈呈式の開催	美しいまちづくり運動功労者に対する感謝状贈呈式の開催	美しいまちづくり運動功労者に対する感謝状贈呈式の開催	
		テレビ・ラジオスポット放送の実施	テレビ・ラジオスポット放送の実施	テレビ・ラジオスポット放送の実施	テレビ・ラジオスポット放送の実施	テレビ・ラジオスポット放送の実施	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	876	937	869	734	845	785	956		956	
伸び率(%)	-	-	▲0.8%	▲21.7%	▲2.8%	6.9%	13.1%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	6,815	6,846	6,815	7,162	7,162	7,315	7,315	7,315	7,315
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,815	6,846	6,815	7,162	7,162	7,315	7,315	7,315	7,315
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	876	937	869	734	845	785	956		956	
所要人数(人)	正規職員	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.92	0.92	0.92	0.92
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
主な予算内訳	自動車借上料254千円、駐車場使用料418千円、自動車用燃料費117千円、自動車修繕料50千円、光熱水費51千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
成果指標	苦情処理率(雑草)	件	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	207	146	199		
			達成度(%)	207.0%	146.0%	200.0%		
成果指標	表彰者数(内川美化運動功労者・まちを美しくする市民運動功労者)	人	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	39	41	38		
			達成度(%)	97.5%	102.5%	95.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	テレビやラジオでの美化啓発や美化功労者への表彰などを実施し、事業としての効果があった。雑草の苦情について、早急に対応することができた。
見直し・改善内容	